

## 令和2年度 放課後等デイサービス自己評価表

項目	質問内容	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
体制環境・整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%		
	② 職員の配置は適切であるか	80%	20%	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された 環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	60%	40%	・トイレはバリアフリーには出来ないが、手すりをつけてある。 ・玄関にはスロープを用意し、車いすでも入れるようにしている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていいるか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	80%	20%	・毎日掃除をし、清潔にしている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80%	20%	・職員間で会議を行っている。会議の頻度を高める必要がある。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%		・意向を把握して改善策を考慮している。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び 改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%		・本部ホームページで公開している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20%	80%	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80%	20%	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	100%		
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%		
	⑫ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	80%	20%	
	⑬ 個別支援計画に沿った支援が行われているか	100%		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	60%	40%	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	100%		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	80%	20%	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		
係機	⑳ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		
	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%		
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	60%	40%	・以前は行っていたが、新型コロナの影響で十分に行えなくなっている。 ・定期的に会議などを行えるようにしたい。

関 や 保 護 者 と の 連	㉓ 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	40%	60%	・以前は行っていたが、新型コロナの影響で十分に行えなくなっている。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	60%	40%	
	㉕ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40%	60%	・機会があれば参加をしているが、新型コロナの影響で十分に行えなくなっている
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20%	80%	・コロナ禍にあり自粛している。
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	20%	80%	・コロナ禍にあるため、開催していない。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80%	20%	・電話や送迎の時に伝えている。月に一度は振り返りを書いて渡しているが、直接話す機会がない保護者もいる。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)の支援を行っているか		100%	
	㉚ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		
	㉛ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%		
保護者への説明責任等	㉜ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	60%	40%	・質問・相談があった際に適宜対応している。
	㉝ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		100%	・職業を持っている人が多く、保護者会を開催しにくい。
	㉞ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		
	㉟ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		
	㉟ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%		
	㉟ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		
	㉟ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40%	60%	・コロナ禍にあり自粛している。
	㉟ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%		
	㉟ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		
非常時等の対応	㉟ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%		
	㉟ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%		
	㉟ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		・口頭で共有することが多い、書き漏れことが多いので確実に記入するように改善する。
	㉟ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		
	㉟ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達 支援計画に記載しているか	40%	60%	・身体拘束について、支援計画に記載していないので記載していく。